

楽園なのか、
戦場なのか
——。

モノス
MONOS

猿と呼ばれし者たち

監督・脚本・製作:アレハンドロ・ランデス 音楽:ミカ・レウ
出演:モイセス・アリアス、ジェリアンヌ・ニコルソン
コロンビア=アルゼンチン=オランダ=ドイツ=スウェーデン=ウルグアイ=スイス=デンマーク
2019年 / スペイン語・英語 / シネスコ / 5.1ch / 102分 字幕翻訳:平井かおり 原題:MONOS
提供:ザジフィルムズ、インターフィルム 配給:ザジフィルムズ 協力:ラテンビート映画祭
© Stela Cine, Campo, Lenning Film, Pandora, SnowGlobe, Film i Väst, Pando & Mutante Cine

www.zaziefilms.com/monos/

LE PACTE présente une production de STELA CINE & FERNANDO EPSTEIN "MONOS" CARACOL TELEVISIÓN CINE COLOMBIA DAGO GARCÍA PRODUCCIONES
con JULIANNE NICHOLSON MOISÉS ARIAS SOFÍA BUENAVENTURA DEBY RUEDA KAREN QUINTERO LAURA CASTRILLÓN JULIÁN GIRALDO PAUL DUBIDES
SNEIDER CASTRO WILSON SALAZAR JORGE ROMÁN Dirección de Sonido LENA ESQUENAZI Música Original MICA LEVI Diseño de Producción DANIELA SCHNEIDER
Directora de Arte ANGELA LEYTON Editado por HORRUS MARRORSABINS TED GARIBO & SANTIAGO OTTEWAY Director del Fotografía JASPER WOLF
De Producción LEONTINE PETIT DIERK-JAN WARBINK NICOLAS AVRIL DIEGO LERMAN KATRIN PORS ANTHONY MIBR AGUSTINA CHARRING
CHRISTOPH FRIEDEL & CLAUDIA STEFFEN ANNE LAURE & JEAN LABADIE Productores Ejecutivos JORGE IRAGORRI ANDRÉS CALDERÓN GLORIA MARIA RESTREPO
GUSTAVO PAZMIN JOSEF REBALSKI CHARLES DE VIEL CASTEL DIKE MERRIMAN J. C. CHANDOR Producido por ALEJANDRO LANDES
FERNANDO EPSTEIN SANTIAGO ZAPATA CRISTINA LANDES Escrita por ALEJANDRO LANDES & ALEXIS DOS SANTOS Dirigida por ALEJANDRO LANDES



『地獄の黙示録』級の衝撃! — POLYGON

第35回サンダンス映画祭ワールド・シネマ・ドラマ部門 審査員特別賞 第63回BFIロンドン映画祭 最優秀作品賞

世界各国の映画祭を席卷！64部門ノミネート 30部門受賞！

※IMDb調べ
2021/8/1時点

魅了された！アレハンドロ・ランデスは、
映画界の新たな声となる。—ギレルモ・デル・トロ

途方もない映画体験 — ROGEREBERT.COM

型にはまらない衝撃的な映画！
見事だ。—アレハンドロ・G・イニャリトゥ

最高の完成度だ！—Los Angeles Times

世界が注目する鬼才

映画音楽界の次なる巨匠

監督アレハンドロ・ランデス × 音楽ミカ・レヴィ

幻想的かつ深淵な、感性を刺激するサバイバル・オデッセイ

前作「Porfirio」(11/日本未公開)がカンヌ国際映画祭監督週間に出品された新鋭アレハンドロ・ランデス監督の3作目は、南米・コロンビアで50年以上続いた内戦を下敷きにした物語だ。暴力の脅威にさらされ続けたコロンビアの歴史と、外界から遮断された世界で生きる少年少女兵の思春期のゆらめきを重ね合わせ、幻想的な世界観で大胆に描いた本作は、サンダンス映画祭をはじめ世界中の映画祭で喝采を浴びた。さらに、SCREEN DAILYが選ぶ2019年ベスト5では『パラサイト 半地下の家族』などの強豪を抑え1位を獲得、ギレルモ・デル・トロら名だたる映画監督や海外メディアからも絶賛の声が相次いだ。



モノス
MONOS
猿と呼ばれし者たち

出演するのは『キングス・オブ・サマー』の若手実力派モイセス・アリアス、『アイ、トーニャ 史上最大のスクランダル』のジュリアヌ・ニコルソン。ほかに、高地での過酷な訓練を経て選ばれた演技未経験のコロンビアの若者たちと、実際のゲリラ組織「FARC」の元戦闘員も出演している。標高4,300メートルの山頂と未開のジャングルで撮影された大自然の目を奪われる神々しさは圧巻。加えて、『ジャッキー／ファーストレディ 最後の使命』でアカデミー賞にノミネートされた若き天才アーティスト、ミカ・レヴィのミニマルで特異なサウンドが、物語の寓話性と狂気性をより一層高めている。

時も、場所も、定かではない世界のどこか。 《猿》と呼ばれた8人の若き兵士がいた——。

世間から隔絶された山岳地帯で暮らす8人の兵士たち。ゲリラ組織の一員である彼らのコードネームは“モノス”(猿)。「組織」の指示のもと、人質であるアメリカ人女性の監視と世話を担っている。ある日、「組織」から預かった大切な乳牛を仲間の一人が誤って撃ち殺してしまったことから不穏な空気が漂い始める。ほどなくして「敵」の襲撃を受けた彼らはジャングルの奥地へ身を隠すことに。仲間の死、裏切り、人質の逃走…。極限の状況下、“モノス”の狂気が暴走しはじめる。

監督・脚本・製作:アレハンドロ・ランデス
撮影:ヤセル・ウォルフ 編集:ヨルゴス・モグロプリアディス 音楽:ミカ・レヴィ
出演:モイセス・アリアス、ジュリアヌ・ニコルソン
コロンビア=アルゼンチン=オランダ=ドイツ=スウェーデン=ウルグアイ=スイス=デンマーク
2019年/スペイン語・英語/シネスコ/5.1ch
102分/字幕翻訳:平井かおり/原題:MONOS
提供:ザジフィルムズ、インターフィルム 配給:ザジフィルムズ
協力:ラテンビート映画祭
www.zaziefilms.com/monos/ @monosfilmsJP



横浜シネマ・シヤツク&ヘタイ
にて 21.12.25 公開
045-243-9800 京急黄金町